TOSHIBA
Leading Innovation

E6581763

簡単・小形インバータ
TOSVERT™ VF-S11

インバータを更新いただくお客様へ

TOSVERT™ VF-SX, SXN ➡ TOSVERT™ VF-S11

TOSVERT VF-SX, VF-SXN は、製造およびすべての保守サービスを終了させていただいております。
このパンフレットでは、標準的なご使用方法の VF-SX,VF-SXN を、後継機種の VF-S11 へ更新いただく際の配線および設定に関する情報を掲載しております。
詳細な資料につきましては、東芝シュネデール・インバータ(株)ホームページ(http://www.inverter.co.jp/)の会員サービス(登録無料:登録まで2営業日かかります)に、製品添付の取扱説明書および置き換えマニュアルを準備しておりますので、ご確認ください。

VF-SX,VF-SXN から VF-S11 への置換えについて

VF−SX, VF−SXN から VF−S11 へ更新を行う場合、以下の手順で据付・配線・パラメータ設定を行ってください。

- ■ 1. VF−SX, SXN の使用方法のご確認
- ■ 2. VF−S11 の据え付け
- ■ 3. 電源・モータの配線
- ■ 4. 制御信号の配線
- ■ 5. パラメータ設定

【推奨】
VF-SX, VF-SXN に電源投入ができ、設定内容の読出しが可能であれば、パラメータ設定内容の読出し・記録を行ってください。

(VF-SX / VF-SXN)

更新

(VF-S11)

1. TOSVERT VF-SX, VF-SXN の使用方法のご確認

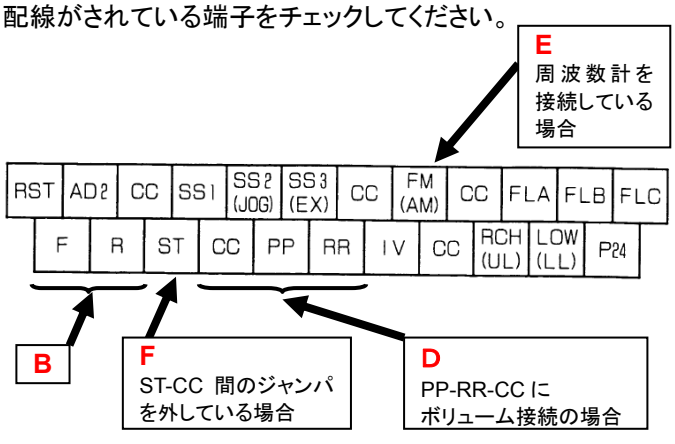
TOSVERT VF-SX,VF-SXN の使用方法をご確認ください。

■ 運転停止方法の確認
A. 操作パネルの **RUN, STOP キー**で運転・停止
B. **外部信号**により運転・停止

■ 周波数設定方法の確認
C. **△▽キー**により周波数設定
D. **外部ボリューム**により周波数設定

注:
各記号(A〜F)は、5項のパラメータ設定時の記号です。

■ 制御回路端子台への配線の確認
以下は、VF-SX,VF-SXN の制御回路端子台です。
配線がされている端子をチェックしてください。



【ご注意ください】
定格銘版(インバータ右側面に貼付)のインバータ形式末尾に「Y-A□□」(□:数字)と記載のあるインバータは、特殊仕様品です。インバータが取り付けられている機械の製造メーカまたは機械の購入元(販売店)に、インバータ更新のご依頼をお願いします。
形式例:VFSXN-2037P1Y-A99

2. 据え付け 3. 電源・モータの配線 4. 制御信号の配線

インバータを据付後、電源・モータの配線を行ってください。
※必ず、電源が遮断されていることを確認してください。

■電源・モータ配線

	VF-SX,VF-SXN		VF-S11
電源	R/L1	⇒	R/L1
	S/L2	⇒	S/L2
	T/L3	⇒	T/L3
モータ	U/T1	⇒	U/T1
	V/T2	⇒	V/T2
	W/T3	⇒	W/T3

■制御信号の配線

VF-SX,VF-SXN に配線されている信号線を、VF-S11 に接続します。
以下については、端子名称が異なります。

VF-SX VF-SXN		VF-S11	備考
RST	⇒	RES	
IV	⇒	VIA	(*)
AD2,SS1~3	⇒	S1~3	(*)
LOW	⇒	RY, RC	(*)
RCH	⇒	OUT	NO-CC を短絡してください

(*):取扱説明書，置き換えマニュアルを参照してください。

5. パラメータ設定

A. 操作パネルの **RUN, STOP キー**で運転・停止

パラメータ設定は不要です。

B. **外部信号**により運転停止

以下手順でパラメータ設定を行ってください。

キー操作	表示	備考
	0.0	電源投入
MODE	AUH	
▲ 4回	CNOd	
ENT	1	
▼ 1回	0	
ENT	CNOd	CNOd⇔0 の交互表示後、自動的に CNOd 表示になります
MODE 2回	0.0	設定完了です

C. **△▽キー**により周波数設定

以下手順でパラメータ設定を行ってください。

キー操作	表示	備考
	0.0	電源投入
MODE	AUH	
▲ 5回	FNOd	
ENT	0	
▲ 3回	3	
ENT	FNOd	FNOd⇔3 の交互表示後、自動的に FNOd 表示になります
MODE 2回	0.0	設定完了です
▲	60.0	運転周波数を設定します。 例： 60Hz の周波数設定 （60.0 になるまで、△キーを押す）
ENT	0.0	FC⇔60.0 の交互表示後、自動的に 0.0 表示になります

F. **ST-CC 間のジャンパを外している場合**

VF-SX,VF-SXN の ST 端子に接続された配線を、VF-S11 の S3 端子に接続後、以下の手順でパラメータ設定を行ってください。

操作	表示	（続き）		（続き）	
	0.0	ENT	1	▼ 7回	1
MODE	AUH	▼ 1回	0	ENT	F116
▼ 2回	F---	ENT	F110	MODE 3回	0.0
ENT	F100	▲ 6回	F116		
▲ 6回	F110	ENT	8		

D. **外部ボリューム**により周波数設定

ボリュームを PP-VIB-CC 端子に接続後、以下手順でパラメータ設定を行ってください。

キー操作	表示	備考
	0.0	電源投入
MODE	AUH	
▲ 5回	FNOd	
ENT	0	
▲ 2回	2	
ENT	FNOd	FNOd⇔2 の交互表示後、自動的に FNOd 表示になります
MODE 2回	0.0	設定完了です

E. **周波数計を接続している場合**

周波数計を FM-CC 端子に接続後、以下手順で周波数計の校正を行ってください。

キー操作	表示	備考
	0.0	電源投入
	60.0	例：60Hz で運転
MODE	AUH	
▲ 7回	FN	
ENT	60.0	
▲ または ▼	60.0	△ または ▽ キーによりメータを調整します。 この時メータの指示は変わりますが、インバータのデジタルLED（モニタ）表示は変わりませんので、ご注意ください。
ENT	FN	FN⇔60.0 の交互表示後、自動的に FN 表示になります
MODE 2回	0.0	校正完了です

［サービス］ 東芝産業機器システム株式会社 サービス統括部 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3丁目8番4号 （第二東硝ビル） TEL 03-5644-5517
東京 03-5644-5518 北海道 011-214-2567 仙台 022-292-2422 名古屋 052-551-1837 大阪 06-4704-1663 広島 082-263-0361 福岡 092-525-8104
［製造］東芝シュネデール・インバータ株式会社

6. 変更したパラメータの検索手順について

VF-SX, VF-SXN に電源を投入し、以下の操作を行うことにより、VF-SX, VF-SXN の設定内容を確認できます。

キー操作	表示	備考
	0.0	電源投入
PRG	:Gr.U	
ENTER	FH	変更したパラメータのタイトルが表示されます 注:検索中は、:Gr.U が点滅します。
ENTER	60.0	変更したパラメータの設定値が表示されます
ENTER	UL	変更したパラメータのタイトルが表示されます 注:検索中は、:Gr.U が点滅します。

(続き)	表示	備考
ENTER	60.0	変更したパラメータの設定値が表示されます
ENTER	FH	最初に表示されたパラメータの表示になれば、検索が終了です
PRG	0.0	

7. パラメータ設定表

タイトル	設定値	タイトル	設定値
8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.
8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.	8.8.8.8.